

住んで良かった加古川市へ

公約実現に全力

シリーズ
①

立花俊治議員の4年間



議会で一般質問をする立花俊治
(2019年6月議会)

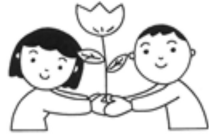
市議会に送っていただいた4年、議会毎に14回一般質問に立ち、皆さんの声を議会に届け、公約実現に全力で取り組んできました。高齢化が進む加古川市では、買い物、通院、公共施設利用の公共交通整備が緊急の課題です。初の議会質問でこの問題を取り上げ、ミニかこバス土山ルート実現につながりました。また、デマンドタクシーの早期導入を求めています。たが、八幡地区で昨年10月

1日より本格運行を開始。そして、お母さんや子供たちの願いが届き、全校にエアコン設置・全ての中学校給食（昨年9月実施）が実現しました。

消費税の増税、さらにコロナウイルスが生活を直撃しています。市民の命とくらしを守るため、211億円の積立金を活用することを求めています。市民の皆さんと力を合わせ「もっとみんなが住みよい加古川」をめざします。

地域の声をお寄せください、ご支援よろしくお願います。

みなさんと共に実現・前進しました



- ☆ミニかこバス土山ルート
デマンドタクシー
運行開始
- ☆小・中学校・幼稚園にエアコン設置
- ☆全ての中学校で給食が実現
- ☆18歳まで医療費無料化（7月実施）

14回の主な質問内容

- ☆健康で暮らしやすい加古川市の公共交通の整備
- ☆地元中小企業の実情及び市との契約状況について
- ☆動物愛護行政について
- ☆補聴器購入費への助成について
- ☆新型コロナウイルス対策と今後の市政運営
- ☆旧加古川図書館の文化的価値と活用について
- ☆廃プラスチックの分別収集について
- ☆国民健康保険料均等割の軽減について

積立金を活用しコロナ対策を

児童保育所や公設市場等を訪問し直接要望を聞くとともに、市民から寄せられた声を要望書にまとめ、5回にわたり市長に提出。一昨年5月の臨時市議会では、財政調整基金の活用で思い切った緊急対策を求めました。

ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議

ロシア軍は2月24日、ウクライナに侵攻した。これは、ウクライナの主権と領土への明確な侵害である。国連総会は緊急特別会合で、ロシアを非難し、軍の即時撤退を求める決議案を141カ国の賛成で採択した。

加古川市議会は、国際間の法秩序と対話による世界平和の実現を希求し、政府においては、国際社会とも連携し、あらゆる外交努力によって、ロシアのウクライナからの無条件即時撤退と原状回復に全力を尽くすことを強く要請する。

以上、決議する。
令和4年3月7日

兵庫県加古川市議会

ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議
全会一致で採択
3月7日、加古川市議会

街頭で訴え



JR東加古川・土山駅、山電の尾上の松・浜の宮・別府駅で、毎月定例の街頭宣伝。議会の内容を報告しています。

市民アンケートから

- 生活必需品の消費税は0%にする。贅沢が可能な人が税金を多く払う仕組みにすべき。(40代)
- 国民健康保険料をもう少し安くしてほしい。(30代)
- 隣の明石市みたいに障がい児にも優しい市になってもらいたい。(40代)
- 支援は子供手当など子供ばかり、他の世代にも給付金や何かやってほしい。独身フリーターだと何も政治に期待できない。(40代)
- 補聴器は体の一部で自由です、とっても高いので購入補助をお願いします。(70代)